

ふなだた

発行：山形県舟形町議会
平成29年7月28日



プール遊びは楽しいな

議会新構成決まる……………	2 P
5月臨時会、6月定例会概要・質疑応答…	4 P
町政を問う 一般質問に6議員……………	6 P
議会活動……………	13 P
議会報告会を開催しました……………	14 P
えがったなあ・町民の声・編集後記……………	16 P



どんなお願い書いたのかな…
★かなうといいね★

議会新構成決まる

議長 八鍬 太氏（再選）
副議長 叶内 富夫氏（選出）

5月1日の臨時会において、議長、副議長の選挙を行いました。また、それぞれの常任委員会の任期満了に伴い、各常任委員会及び議会運営委員会の構成替えを行いました。

がんばります!!

議長 八鍬 太

副議長 叶内 富夫

議会運営委員会

「円滑かつ効率的な議会運営を」

〔所管〕
 ○議会の運営に関する事項
 ○会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
 ○議長の諮問に関する事項



委員長 加藤 憲彦
 副委員長 斎藤 好彦
 委員 佐藤 広幸
 佐藤 勇

文教民生常任委員会

「福祉・教育の充実を」

〔所管〕
 ○国民健康保険、後期高齢者、介護保険、民生費、衛生費、教育費の所管に属する事項



委員長 佐藤 広幸
 副委員長 石山 和春
 委員 八鍬 太
 佐藤 勇
 伊藤 欽一

引き続き議長の職を担わせていただくことになりました。今後とも研鑽に努め、議会での活発な議論の展開が、町民の皆様の福祉の増進を図る推進力となる議会づくりを目指していきます。今年からは水道事業が独立採算を原則とした企業会計になり、臨時職員であった保育士の皆さんは社会福祉協議会職員として保育所勤務になるなど、年々さまざまな変化しておりますが、行政と共に町の課題解決に向けて取り組んでいきます。九州地方では豪雨の被害も出ておりますが、舟形は真夏を思わせる猛暑日が続いております。体調管理に十分気をつけてお過ごしください。今後とも議会に対してのご指導、ご協力をお願いいたします。

5月1日の臨時会において副議長に選出されました。今後ともよろしく願います。町の課題として、少子高齢化が進んだことにより、人口減少・空き家の発生・地元商店の減少により買い物弱者の増加・地域力の低下等、多くの課題があります。町民一人ひとりが情報を共有し、課題解決に向けて、地域、住民の皆さんから意見や声を出していただくことを大切にしたい、親しみのある開かれた議会を目指します。副議長として八鍬議長を補佐し、山積する諸問題解決に向け、住みよいまちづくりを目指して、精いっぱい努力していきます。

総務振興常任委員会

「農業施策・大規模工事の進捗に注目」

〔所管〕
 ○総務費、農林水産費、商工費、土木費、上下水道事業、集落排水事業の所管に属する事項



委員長 斎藤 好彦
 副委員長 小国 浩文
 委員 叶内 富夫
 加藤 憲彦
 奥山 謙三

議会広報常任委員会

「読まれる紙面づくりを」

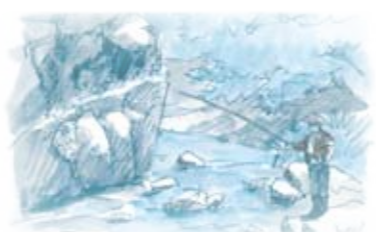
〔所管〕
 ○議会報の企画、編集、発行に関する事項
 ○広報広聴に関する事項



委員長 佐藤 勇
 副委員長 伊藤 欽一
 委員 奥山 謙三
 石山 和春
 小国 浩文

議会選出委員等

最上広域市町村圏事務組合議員
 佐藤 広幸
 舟形町監査委員
 奥山 謙三



議会改革特別委員会を設置しました

6月定例会において、「議会改革特別委員会」が設置されました。当議会では、「舟形町議会基本条例」を議会運営・議員活動の核としながら議会活性化に取り組んでまいりました。

これまでの取り組みを継続しつつ、さらに時代に沿った議会運営を目指し、議員の資質向上と議会活動の充実に努めます。そして町民の皆さんに信頼される開かれた議会づくりを進めていきます。

○委員の定数
 議長を除く9名の議員

委員長 奥山 謙三
 副委員長 叶内 富夫

○設置の期間
 平成29年6月8日～
 平成31年3月31日

○常任委員会とは

議会が条例で定め常設する委員会で、議員は必ずいずれかの常任委員会に所属します。広範多岐にわたり複雑化している行政事務を部門別の委員会で能率的に審議調査するため、
 ○総務振興常任委員会
 ○文教民生常任委員会
 ○議会広報常任委員会
 の3常任委員会を設置しています。各常任委員会は、所管事務調査(※)と請願・陳情などの審査を行います。

※所管事務調査…それぞれの委員会が担当する町の予算や事業について調査すること。

○特別委員会とは

特定の案件について調査する場合、特に必要と議会が認めたときに設置する委員会です。下記のとおり、6月定例会において、議会改革特別委員会が設置されました。



このたびの工事は10月末までです。ご不便をおかけします。

教育課長 工事期間中は、生涯学習センターや農村環境改善センター、老人いこいの家「清流荘」を利用していただくよう、サークル等の方々や町内会長と調整済みです。講演会などのイベントを開催する場合同様に考えています。

質疑応答

第4回臨時会

中央公民館耐震補強工事請負契約の締結

議員 公民館で様々な活動が行われているが、工事期間中の代替施設はどのように考えているのか。

議員 入札に参加した業者は何社で、落札率は。

教育課長 Aランクの業者6社による指名競争入札で、落札率は98・52%です。

6月定例会

舟形町振興公社経営状況の報告

議員 若あゆ温泉の入浴者数が減少しているが、町民の利用を促進する対策は。

副町長 今年1月の調査では、町民の利用率は27・8%と低い状況です。一人でも多くの町民の方に利用していただけるよう、平日のお得な宿泊プランや食堂での鍋まつりやお花見弁当など、季節ごとにいろいろな取り組みを行なっていますが、周知が課題となっています。今後、チラシを全戸配布するなどしてPRをしていきたいと考えています。

議員 農林水産物加工施設における特産品の商品開発は何品目で、特に「ヒットした商品は」。

まちづくり課長 当課でまとめた、舟形町特産加工品一覧に載せているものは65品目です。28年度に県から50万円の補助金をいただいて、おみやげ品開発を行いました。その中でラズベリーシャーベットを開発し、やまがた土産菓子コンテストで優良賞をいただきました。

第3回臨時会
5月1日
第4回臨時会
5月30日
6月定例会
6月6日～8日

中央公民館耐震補強工事

5918万円

6月定例会は、6日から8日までの会期で開催され、6人の一般質問に続き、一般会計等、全議案を原案どおり賛成多数により可決しました。

主な審議された議案

第3回臨時会

- 平成28年度一般会計補正予算の専決処分の承認
- 税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認
- 一般会計補正予算繰越明許費計算書の報告
- 監査委員の選任

第4回臨時会

- 中央公民館耐震補強工事請負契約の締結
(契約の相手方 升川建設株)

6月定例会

- 平成28年度(株)舟形町振興公社経営状況の報告
- 平成29年度一般会計補正予算
- 平成29年度国民健康保険特別会計補正予算

※(繰越明許費)予算のうち、年度内に支出が終了しない見込みの経費で、翌年度に繰越し使用できるもの(財政法第14条3項)



和気あいあいと楽しい健康づくり (いこいの家)

平成29年度一般会計補正予算

議員 老人いこいの家管理事業の修繕料の内容と、当初予算に計上されていなかった理由は。

健康福祉課長 雨漏り修繕工事に24万円、玄関修理に19万円です。当初予算が決定した後には雪が原因で発生したので計上でできませんでした。

議員 促成山菜生産基盤整備支援事業費補助金とあるが、その内容は。

農業振興課長 行者にんにく、タラノメ、うるい等の促成山菜の、産地育成の基盤整備を推進するための支援事業です。



小国 浩文 議員

ふるさと納税の返礼品を問う

状況判断を誤らずに対応していきたい



新しく出来た「街のふるさと」

質問 2008年度の制度創設から9年が経ち、今日、ふるさと納税に対して自治体の返礼品の調達が4割を超え、資産性の高いものが返礼品となってきたいます。そのため総務省は、本来のふるさと納税制度の趣旨に基づく対応を徹底させるためとして、返礼品の調達額を3割以下に

するよう4月に通達を出しました。県としては、税制度の趣旨を踏まえて対応し、各自自治体の思いを尊重することが大切であるとの見解を示していますが、町としての考えを伺います。

町長 ふるさと納税の返礼品については、今年4

質問 県では、新たに生産農業所得を1.3倍にする目標を提示したが、生産現場では従事者の高齢化や担い手不足に加え、2

農業所得向上対策を問う
元気な農業の実現に向け政策を進める

月1日付けで「ふるさと納税に係る返礼品の送付等について」という総務大臣通知が、各都道府県知事宛てに通知されました。「返礼品については、責任と良識ある対応を徹底するように」との内容で、返礼品の返割割合の妥当な水準の趣旨について、総務省自治税務局市町村税課長から各都道府県総務部長宛てに文書が来ています。それを受け、今後このことに関する情報を見落とさず、様々な想定を踏まえての対応について検討しておくことも大切ですので、状況判断を誤らずに対応していきたいと考えています。



農業所得アップに向けた講習会が開かれる予定の県立農林大学校

町長 指摘のとおり、農業を取り巻く環境は、担い手の高齢化や後継者・生産者不足、更には平成30年に米の直接支払交付金が廃止され、農業所得

018年産米からの生産調整廃止などの課題があり、農業所得への影響があると考えられます。農業所得アップに向けて、高収益性作物への転換などの対策について、町の考えを伺います。

の減少が見込まれるなどの課題があります。今後、農業者の労働力やほ場の条件など、個々の経営スタイルにあった品目を選択することも重要なポイントとして捉え、これらを参考にしながら収益性がより高まる作物への転換を進めていきます。

舟形町の農業者の経営安定化、元気な農業の実現に向けて政策を進めていきます。

町政を問う

一般質問に6人が登壇

一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。

小国 浩文 議員

7ページ

- 1 ふるさと納税の返礼品を問う
- 2 農業所得向上策を問う

伊藤 欽一 議員

10ページ

- 1 郷土愛を育む取り組みについて
- 2 十二河原河川公園の環境整備について

奥山 謙三 議員

8ページ

- 1 官民協働・地域間連携による住民主体の地域づくり推進事業を問う

斎藤 好彦 議員

11ページ

- 1 新庄最上定住自立圏構想の検証を
- 2 がん探知犬による検査の実施を

佐藤 広幸 議員

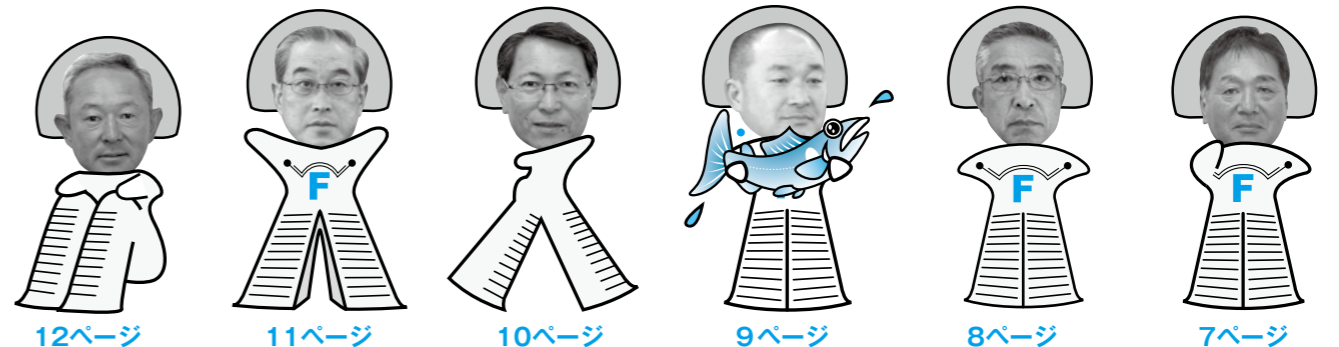
9ページ

- 1 機構改革、課再編のねらいは何か
- 2 今後十年間の職員採用計画を示せ

佐藤 勇 議員

12ページ

- 1 多面的機能支払協定を町一本化へ
- 2 日本一の給食食育推進事業について



12ページ

11ページ

10ページ

9ページ

8ページ

7ページ



奥山 謙三 議員

官民協働・地域間連携による

住民主体の地域づくり推進事業を問う

各地域の地域づくりを具現化出来るよう進めたい

質問 この事業の取り組みで特に重要と考えるのは、町民一体で協働によるまちづくりを推進し、地域住民と町が知恵を出し合い、それぞれの役割や責任を再確認し、住民の皆さんが自分たちで地

域の現状や課題を洗い出し、自分たちの地域をどうしたいのか考えてもらい、その結果を踏まえて、地域計画を策定するとあります。また、この取り組みを通して、地域住民が主体となり将来にわたって持続可能な集落機能を構築することを旨として書かれています。この事業を達成するための、詳細な具体策を質問します。



地域づくり総合支援事業を活用しての芸能ショー（堀内地区）



女性目線で堀内地区の活性化を目的に活動する「堀内ふるさと応援女性の会」

町長 本事業の目的は、少子高齢化・人口減という状況において、地域の課題等を話し合いの中から見出していき、地域の課題等の共有と課題解決のための地域計画を作成し、その計画を実施運営する地域支援組織の構築を行い、持続可能な地域

の形成を図っていくことを目指しています。具体的活動として、今年度はアンケート調査を実施し、その集計後、課題を整理し、次年度に計画しているワークショップ実施の準備をすることとしています。アンケートで求めることは、まず何をしたいかではなく、何に困っているのか、今後、こんなことが心配されるなどの困り感を調査し、その困り感が地域の中でどれ程共有されるのか見極めながら、行政と役割分担または連携しながら施策を展開していくことが大切と考えています。地域運営組織の構築については、現在活動している地区連合町内会と集落支援員で対応できるのか、新たに構築する必要がある

るか、事業に取り組んでいく中で示されてくると思います。進めるにあたっては、先導的な有識者ではなく、地域の中で地域の方々が自ら考え意見を交わし、総意を形成できるような指導をしていく有識者を検討してい

ます。今年度の事業推進の中で方向性を確認しながら、各地域の地域づくりの形を具現化できるよう進めていきたいと考えています。

質問 森町長が就任して一年を過ぎ、まちづくりをする一方で庁舎内の改革にも目を向けてきたものと思う。それが今年度から一課増やし始まった課体制による行政運営になるが、これにより課ごとの業務量の平準化が行えるのか。

町長 今回の機構改革は、業務量や業務の質的な比較の調整は難しいものがありました。内部で話し合いをもって調整を図りました。班体制での問題は、

なりましたが、班体制の問題点は、何であったのか。課長補佐制度は町民にとりどのような利点があるのか質問します。



相談しやすく配置を変えてスタート

機構改革、課再編のねらいは何か

責任所在の明確化と業務量の平準化



佐藤 広幸 議員



入口正面は新しい課で対応

町長 今回の機構改革は、業務量や業務の質的な比較の調整は難しいものがありました。内部で話し合いをもって調整を図りました。班体制での問題は、

地方分権改革の推進により国県から市町村への事務移譲が行われたこと、職員が減り業務が増えグループ制においても業務内容を担当しか把握していない。また、チェックできる体制がとれない、業務責任の所在が不明確になるなどの課題が出始めました。また、業務枠が大きく、班長が所管する業務も担当業務を持ちながらの職務環境であったため、管理職の補佐役がないという状況でした。

町民への利点ということでは、係制にしたことで担当部署や責任の所在が明確になり、今までよりも窓口がわかりやすくなったのではないかと考えています。

質問 近年退職者の穴埋めをする形で新規採用職員を増やしているが、計

画性があるのか疑問だ。今後少なくとも10年間の退職者と、新規採用者の計画を示しながら採用していくべきと考える。

町長 町の定員管理計画では、平成30年度の定員を79名としています。これは、集中改革プランの具現化や議会の決議、前町長の公約などから削減しており、今年4月現在の職員数は73名です。職員採用計画は、新しい定員管理計画の中で検討していきます。

今後、町と同程度の類似団体の職員数の状況や行政ニーズや行政課題への取り組みをどうしていくのかなどを踏まえ、来年度中に適正な職員数を検討したいと考えています。

今後10年間の職員採用計画を示せ

適正な職員数を検討する



伊藤 欽一 議員

郷土愛を育む取り組みについて

地域を育てる若者の育成に取り組み

質問 以前開催された中学生議会での質問内容を見ますと、交流人口の増加、町の特産品の消費拡大、環境問題などの質問や町への提言もあり、たいへん頼もしく思いました。町の課題や将来像についてディスカッションすることにより、郷土を

愛する心も芽生えるのではないかと思います。さらには、若者の思いや考えなどを話し合える機会を多く作り、意見や提案などを聞くことが町の発展に必要な取り組みだと思いますが、町長の考えを伺います。

このことを学び体験することが重要です。今の中学生たちには、いずれは舟形町を担っていただくなければならぬいし、当然、議員にも町長にも、また、舟形町の町づくりのためにも役場に入ってもらえるような人材を育てていかなければなりません。ぜひ、中学生と対話をする機会を作っていくよう努力したいと考えています。また、若者の考えをもっと話し合える機会を作り、地域に育ち、地域を育てる町民の育成に取り組みしていきます。



雑草の除去が待望されるチャイルドランド



地域で育てる川遊び体験
平成14年から継続されている「長沢子ども遊々塾」

町長 舟形町の教育目標は「地域に育ち、地域を育てる町民の育成」であり、その育成のための教育の重点でも愛郷心を掲げています。町のヴィーナスプランでは愛郷心を持った子供像を、保・小・中ごとに示し、それに向かって様々な活動を中心に仕組んでいるところですが、地域の人と触れ合ったり地域の行事に楽しく参加したり、自然や文化に触れたり、地域

質問 舟形橋下流より十二河原河川公園の環境整備について、早急に調整し対処する

二河原河川公園まで堆積土砂の浚渫が行われ、今後、増水による浸水の危険が減少したと安堵しています。若駄まつり会場の護岸はきれいに整備されましたが、チャイルドランドの護岸は雑草で河川に降りられない状況ですが、景観上はもちろんですが、安全管理上も問題があると思われませんが、今後の対応について町長の考えを伺います。

町長 最上総合支庁建設部河川砂防課と5月下旬に現場視察し状況を説明し、法面等の堆積土砂の撤去を要望しました。チャイルドランドは利用者自由で河川へ降りられ、川遊びができるように造られた施設でもありますので、安全性や景観の問題も配慮した上で、引き続き県に要望していきます、除草などは早急に対処したいと考えています。



齋藤 好彦 議員

新庄最上定住自立圏構想の検証を 事業目標につながるよう推進する



定住促進が期待される共生ビジョン

質問 国では人口減少、少子高齢化が進行する中、地方への定住促進を図るために定住自立圏構想を推進し、平成28年3月に「新庄最上定住自立圏共生ビジョン」が策定されました。策定後一年が経過しましたが、ビジョンに掲げた各種事業が計画どおりに進展しているのか、疑問を感じています。定住自立圏形成協定に基づく事業についての検証が必要であると思います。町長の考えを伺います。

町長 新庄最上定住自立圏は、舟形町を含む7町村が新庄市と定住自立圏形成協定を締結し、「新庄最上定住自立圏」が形成されたものです。今後、8市町村内部で検討するとともに、定住自立圏での業務担当等で構成する検討ワーキング部会、更には、8市町村の企画担当課長で構成する検討会議を経て、最終的な決定は、8市町村の首長で構成する定住自立圏形成推進会議で決定し

ます。検証については、それぞれの連携事業項目ごとにワーキング部会を開催し、新たな協定・事業等の検討を行う予定です。町としても事業内容を精査しながら、事業目標につながるよう推進していきます。

がん探知犬による検査の実施を 実施の是非を検討する

質問 探知犬によるがんの発見率は非常に高く、早期のがんもほぼ100%に近い検査結果も公表されており、専門家からも高い評価を得ています。金山町での取り組み状況を研修し、本町でも探知犬によるがん検査事業に取り組みみてはどうでしょうか。町長の考えを伺います。

町長 金山町が今年度実施するがん探知犬によるがん検診は、受検者に負担をかけずに早期発見ができる検査方法として実



がん探知犬検査の説明を聞く町民（金山町）

用化が期待されています。受検者への負担が少ないことで受診率向上に関して一定の評価はできると考えますが、新たながん検診としての有効性の有無に関しては、線虫を使った検診などを含めて、まだまだ研究段階であり、検証の結果を注視し判断する必要があると考えま

す。今年度、金山町では通常のがん検診のほかにがん探知犬による検診を行うとのことでしたので、その比較結果も参考にしながら、本町での実施の是非を検討したいと考えます。



佐藤 勇 議員

多面的機能支払協定を町一本化へ 一本化の意向調査を実施

質問 多面的機能支払協定について

①旧対策で取り組まれた組織数と交付額

②新対策で28年度に取り組んだ組織と交付額

③29年度に取り組む組織面積、交付予定額、取り組まない集落とその理由と、28年度の課題



多面的機能支払で、町の未来をみんなで創る！

④町一本化の組織を立ち上げ多面的機能支払を最大に計画すると、面積交付金はいくらかを伺います。

農地所有者が農地に目を向けなくなり、農地維持管理が厳しい状況にあります。組織の大きな負担である事務作業を、「農業支援センター」を立ち上げ、地域おこし協力隊を募集し、多面的機能支払協定組織の活動計画・事務作業と共に、ふるさと納税の返礼品業務等を担い活動していただくことが、町全体の営農発展につながるものと思われまます。町長の考えを伺います。

町長 ①19年度に取り組んだ組織は24団体、交付金額は2352万9千円。

②28年度の実績は19団体、交付金額は3066万4千円。

③29年度に取り組む団体は2団体減少し17団体、交付対象総面積は約698ha、交付予定額約2826万7千円を予定。取り組まない理由としては、高齢化・転出による構成員の減少や、構成員からこの活動に対する理解が得られない。28年度においての課題は、構成員の減少や各組織における事務局の事務処理の煩雑さなど。

④組織を町一本化した場合の最大計画面積は約1506ha、最大交付金は農地維持分が約4516万3千円、資源向上分が約1947万4千円、計6463万7千円と試算されます。

制度解説や留意事項など詳細な説明を今後も十分にを行いながら、多面的機能支払交付金を活用して共同活動に取り組みんでいただけるよう努めます。

日本一の給食食育推進事業について

地域が学校給食をより強い形で支援

質問 郷土愛を醸成し、将来町に住み続ける、戻ってくる気持ちの創出が理念・目的であるが、具体的な取り組みを伺います。

町長 実施検討委員会、生産者や生産部会、保護者が連携し、年間を通じて必要な食材の生産を出る人を募って、地域が学校給食をより強い形で



日本一の給食事業で、朝採りのきゅうりを提供してくれた星川俊則さん。コロナきゅうりにしていただきました。

支援するスタイルを構築し、町民全員で給食を支え、町の宝である子どもたちを支え、そして育て、子どもたちに愛郷心を醸成していくという事業です。

読まれる議会だよりの編集と表現とは

議会広報研修会(5月26日)

第34回町議会報研修会が山形国際交流プラザで開催され、当議会からも議会広報常任委員と事務局職員が参加しました。

昨年に引き続き、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏を講師に、「読まれる議会だよりのポイント」について研修を受け、その後、県内13町の広報誌に基づいて、具体的にクリニック形式による説明を受けました。

研修を活かし、町民が興味を持ち読んでいただけるよう、紙面編集を工夫しながら、議会だよりづくりに努めていきます。



町民に読まれる紙面づくりを学ぶ研修会

議会だよりモニターを募集します

舟形町議会では、議会だよりへのご提言やご意見をいただき、議会だよりが町民の皆様との結びつきを強めることが出来るよう、より一層の充実を図るため、『議会だよりモニター』を募集します。皆様の応募をお待ちしています。

活動内容	①発行された議会だよりについて意見を述べていただくこと ②議会だよりに関するアンケートに回答していただくこと
任期	委嘱状を交付された日から1年間
対象	舟形町在住の18歳以上の方
募集定員	5人以内
申込方法	8月31日(木)までに議会事務局へ来庁または電話かメールでお申し込みください。 電話：32-2111(内線251) メール：gikai@town.funagata.yamagata.jp

表紙のごとば

7月3日、ほほえみ保育園でプール開きが行われました。当日は気温が上がらず寒い日でしたので、プールの神様に安全をお願いし、注意事項の説明だけが行われ、その後、7月5日に初めてプールに入りました。

夏の暑さが日増しに強くなってきたので、園児の皆さん、体調を崩さず楽しく遊んでください。

また、7月7日には七夕お楽しみ会が開催され、園児一人ひとりが願いを込めた短冊を結んでいました。

次回の定例会は

**9月5日(火)
~13日(水)**

までの予定です。

どなたでも議事を傍聴することができます。皆さまの傍聴をお待ちしております。

第8回議会報告会を開催しました

次回の報告会は9月定例会以降に開催予定です。

4月4日(火) ～5日(水) 開催

舟形町議会では8回目となる議会報告会を開催しました。議会報告会の目的は、地域に外向いて町民の皆さんへ議会活動などの報告と町政に関する情報を提供すると共に、議会活動に対する意見などを直接お聴きして、議会の活性化に努め、町民に信頼されるまちづくりを実現しようとするものです。

町内4地区(幅・一の関・長者原・実栗屋)において、28年中の議会活動の報告及び29年度の当初予算の概要説明を行いました。

議会に関する事項

議会運営

問 本会議の傍聴者が少ないように感じる。

議会 以前、夜間議会を開催しましたが、傍聴者は少なかったという結果でした。今後、特別委員会で、多くの方に傍聴してもらえよう検討していきたいと考えています。

問 議員からの提出議案が少ないのではないかと。他の町村はどうか。

議会 平成28年度の県内の町村での、議員提出の条例件数は24件でした。今後とも政策提言等、議案提出に努めます。

問 政務調査費はあるのか。

議会 当議会ではありません。

議員定数

問 議員数をもっと減らせないか。

議会 特別委員会でも検討しましたが、議会運営面・委員会構成からみても、10名が最低必要議員数だと考えています。

問 議員数は法律で決められているのか。

議会 議員定数は、町の条例で定数を定めています。

町等に関する事項

交通

○高齢者による運転免許証の自主返納に対する対応策は。

○タクシー券について、他市では3万円補助していると聞いた。町ではもっと充実させる考えはないか。

○町営バスを県立新庄病院まで運行する考えはないか。

町 町営バス・乗合タクシー担当、高齢者コミュニケーションふれあい担当、福祉タクシー担当、交通安全担当等の関係する各係と連携して、今年度中に平成30年度からの運行について対応・支援策を協議していきたいと考えています。

ふるさと納税

○ふるさと納税は、納められた金額の何割が基金へ積み立てられているのか。

○納税額が予算額に達しない場合、各事業への充当は大丈夫か。

○返礼品の規制により、納税額が低下するのではないか。

町 基金に積み立てているのはおよそ3割です。この基金から各事業に充当しています。現在の基金の状況による配分ですので、今年度充当した事業は大丈夫です。返礼割合については他市町村の動向を見ながら対応を検討していきたいと考えています。

その他(抜粋)

○亀割バイパスから長尾町内への右折レーンの設置はいつになるのか。

○毒沢へ通じる道路を4月の早い時期に開通してもらいたい。

○役場職員のあいさつが徹底されていない。

○町長・議長の交際費の使い道は。

○子育て支援住宅を増やす考えはあるのか。

この他にもいろいろな質問がありました。

議会報告会の質問については、議会で取り組むべき項目は議会内で対応を検討しています。

町政等へ対するものは町当局に報告しました。今回の議会報告会の回答書については、開催地の町内会長へ回答書を送付しています。

4月5日



幅コミュニティセンター 参加者 5人



一の関公民館 参加者 18人

4月4日



長者原公民館 参加者 10人



実栗屋公民館 参加者 13人

シリーズ



今回は、長者原の相馬恕杏さんと結婚した、千葉県出身の昌人(旧姓 小倉)さんです。
皆さんよろしくお祈りします。

◆どんなきっかけで知り合いましたか？

千葉県の病院で、同じ職場で働いていたのがきっかけです。

◆舟形町での生活はどうですか？

舟形に来てまだ4ヶ月で右も左もわかりませんが、家族と職場の方々、そして最近消防団に入らせていただき、多くの方々と関わりを持ち会話をすることが出来て、楽しく過ごしています。

◆舟形町の良いところ・悪いところはありますか？

海育ちなので山が新鮮でした。温泉やキャンプ場があり、自然に囲まれていて、おいしい物がたくさんあります。
コンビニはあるが、スーパーが近くにないこと、冬の雪の除雪と運転が不安です。

◆舟形町に望むことはありますか？

虫が多い。特にカメムシが部屋の中に入ってきてます。謎です。助けてください(笑)。

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

私には、子どもが3人います。鶴岡市から舟形町に嫁いで早14年、仕事に子育てに毎日奮闘しています。

嫁いだ当初は、右も左もわからず、どうしていいかわからない不安もありましたが、舟形町の子育て支援が充実しているお陰で、助かることがかりました。ママ友も増え、いろんな出会いもあり、本当にありがたかったです。これからも、より良い子育て支援をお願いします。

そんな出会いの一つに、猿羽根太鼓があります。4ヶ月位の期間限定の習い事ではありますが、子どもと一緒に太鼓を打ち合い、楽しい時間を過ごしています。太鼓の楽しさをまだ知らない人もたくさんいると思います。年齢や男女問わずに、多くの人に経験していただけたら良いなと思います。そういう場を数多く作ってもらいたいです。

最後に、この自然豊かな舟形町で子育てを続けられよう、議会の皆様に期待と共にお願いいたします。



沼澤 玲子さん
(一の関)

(議会より)
自然豊かな舟形町で育った子どもたちが、戻って来たいかなるまちづくりを目指してがんばります。

編集後記

今年九州豪雨で甚大な被害が発生しています。犠牲になられた方にお悔やみ申し上げます。ともに、一日も早い復旧・復興を願いたいものです。さらに各地で、記録的な大雨による災害の発生や、厳しい暑さにより熱中症搬送が急増しています。夏本番に向けて、災害から命を守るため、改めて自主防災組織の大切さを感じています。

西ノ前遺跡公園が整備され、8月5日に開園式が行われます。多くの皆様にご利用していただきたいと思っています。

今回、委員会の構成替えがあり、新たに5人体制となりました。また、新しい取り組みとして、このたび議会だよりモニターを募集します。議会だよりへのご意見をいただき、皆様の声を反映させた紙面づくりに努めてまいります。ご応募お待ちしております。
(佐藤 勇記)

発行責任者

議長 八 謙 太
議会広報常任委員会
委員長 佐 藤 勇
副委員長 伊 藤 欽 一
委員 奥 山 謙 三
委員 石 山 和 春
委員 小 国 浩 文